

国立駅南口駅前デザイン アイデアコンペ

受賞作品集



受賞者一覧

※50音順

お名前	作品名
■18歳未満（子ども部門）	
五十嵐 愛	豊かな国立駅舎
猪股 紗英	また来たいな。そんな国立駅
大澤 令	桜の木
関根 諒大	いろいろな生き物
田中 夢乃	みんなの森
外岡 心寧	春夏秋冬
額賀 可玲奈	お花が広がる国立駅南口
放課後活動 あおぞらのみんな	わくわくくにたち
和田 拓磨	みんなの笑顔に会える国立駅
■18歳以上（大人部門）	
井上 さやか	みんながのんびりお散歩したくなるまち
大谷 和彦／渡辺 由紀	花と笑顔のあふれる町
笠本 蒼太 鶴藺 敦也／田口 凌介	国立ストーリー 第一章「ヤマの校門」
小山 浩太郎／清水 太幹	国立駅南口駅前広場 ゆたりろ
白木 愛子 谷水 まき子／谷水 錬	くにたちテラス 駅舎と通りを見渡す広場
野和田 陽菜	「谷」変わる国立から、変わらない国立
藤原 隆洋	つなぐ
間瀬 英一郎／水木 花	ステージやスクリーンにもなる貸出備品倉庫 「備品調達・運搬の問題」を解決し、広場活用の市民参画を促す
WAKUWORKS 株式会社	みんなで育てよう、駅からはじまる杜づくり

※これらの受賞作品のアイデアは、令和5年度に実施予定の設計事業者選定や今後の設計の際に参考とさせていただきます。
アイデアがそのまま実現されるものではありません。



豊かな国立駅舎

お名前 五十嵐 愛

アイデアのコンセプト

人々が1人1人楽しめるような豊かな国立駅舎

総評

多世代で交流しながら駅前空間を楽しめる仕掛けが考えられている

提案者ご自身の年代だけでなく、多世代で交流しながら駅前空間を楽しむような仕掛けが考えられている良い提案です。



また来たいな。そんな国立駅

お名前 猪股 紗英

アイデアのコンセプト

駅を利用してくれる人や国立に初めて来た人が「国立っておもしろい」と思ってくれるような駅をイメージして考えました

総評

駅前子どもも大人も楽しく過ごす様子が伝わる
国立駅前のそれぞれの場所ごとに丁寧な提案がされていてタイトルもかわいく、子どもも大人も駅前で楽しく過ごす様子が伝わってきます。



桜の木

お名前 大澤 令

アイデアのコンセプト

自分の中の国立市のイメージを踏まえ、駅前ということで電車に乗って国立市にやってきた人、立ち寄った人たちが感銘を受けるような美しい風景にしたいと考えました。

総評

桜だけで国立らしい風景を表現した力強い提案である

美しい風景を桜だけで表現することで、国立らしい駅前の風景を感じさせるシンプルで力強い作品となっています。



いろいろな生き物

お名前 関根 諒大

アイデアのコンセプト

いろいろなきょうりゅうがいてそれをみる。たとえばティラノサウルスやプテラノドンやカッコいいきょうりゅうもみる。

総評

特別な使い方をする事で駅前広場が魅力的になる
恐竜が描かれていて、このようなイベントができると、特定の日だけでも特別で多様な使い方ができ駅前広場が魅力的になると感じさせます。



みんなの森

お名前 田中 夢乃

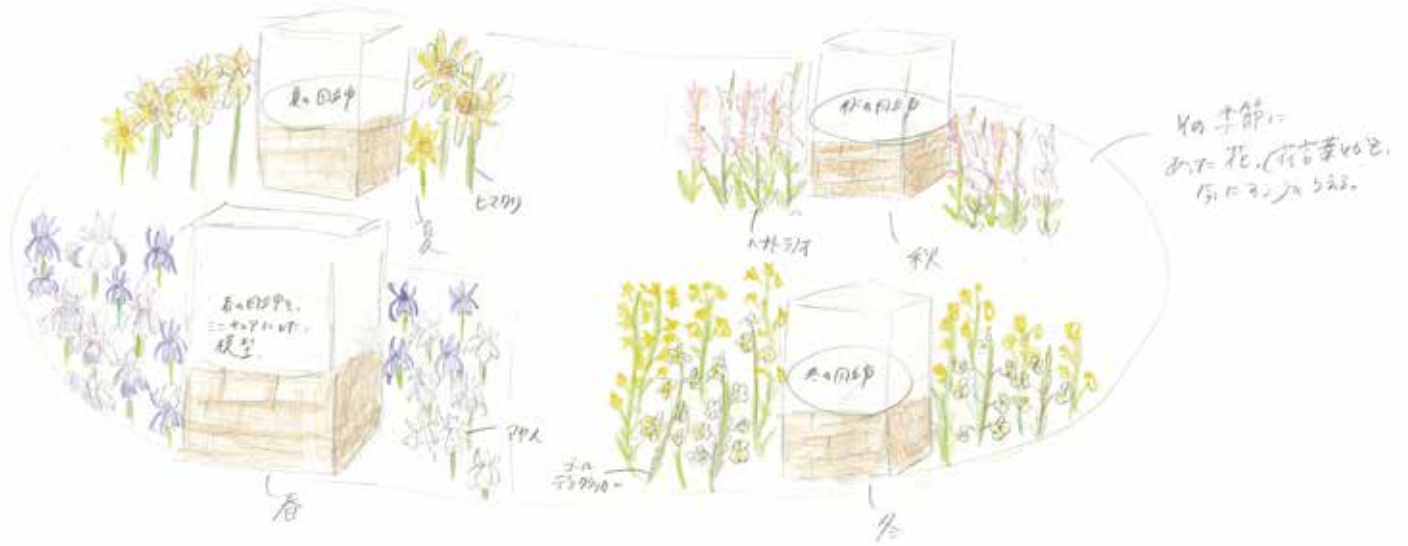
アイデアのコンセプト

まいにちとおるみちで、お花やちょうちょやとりにあえたらうれしいです。えきのまえにも小さな森があるといいなと思います。

総評

誰にとっても不便がないデザインが提案されている
誰でもトイレが大きく描かれていて、誰にとっても不便がないようなデザインとなっていることを評価します。

春夏秋冬 誰にも楽しめる
花壇



春夏秋冬

お名前 外岡 心寧

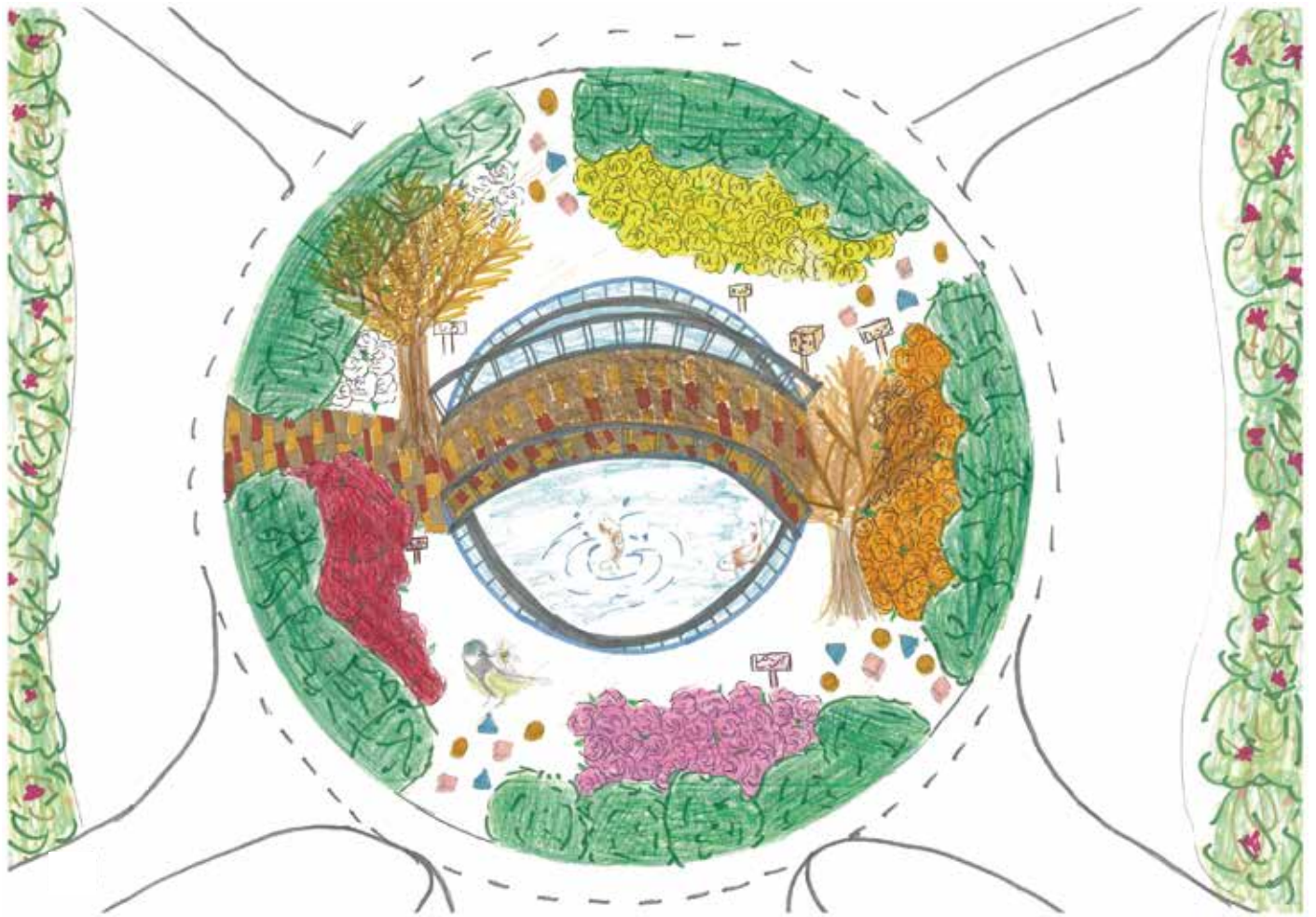
アイデアのコンセプト

国立市って、こんな感じだよーって、誰でもわかってもらえるよう、模型をおきました。ミニチュアなら、見ててかわいいからです。周りに花をおいたのは、目の見えない人でも楽しめるようにです。春、夏、秋、冬、それぞれにあった花。かすかでも匂いはすると思い、花を周りに。花には、花言葉があって、春にはアヤメ。アヤメには、「希望」という花言葉があって、これからの国立市にぴったりだと思いましたが、うしました。

総評

目の見えない方にも配慮した四季の花が提案されている

四季の花選びに子どもらしい思い入れを感じ、目の見えない方にも花の香りを楽しんでもらおうという内容に惹かれます。



お花が広がる国立駅南口

お名前 額賀 可玲奈

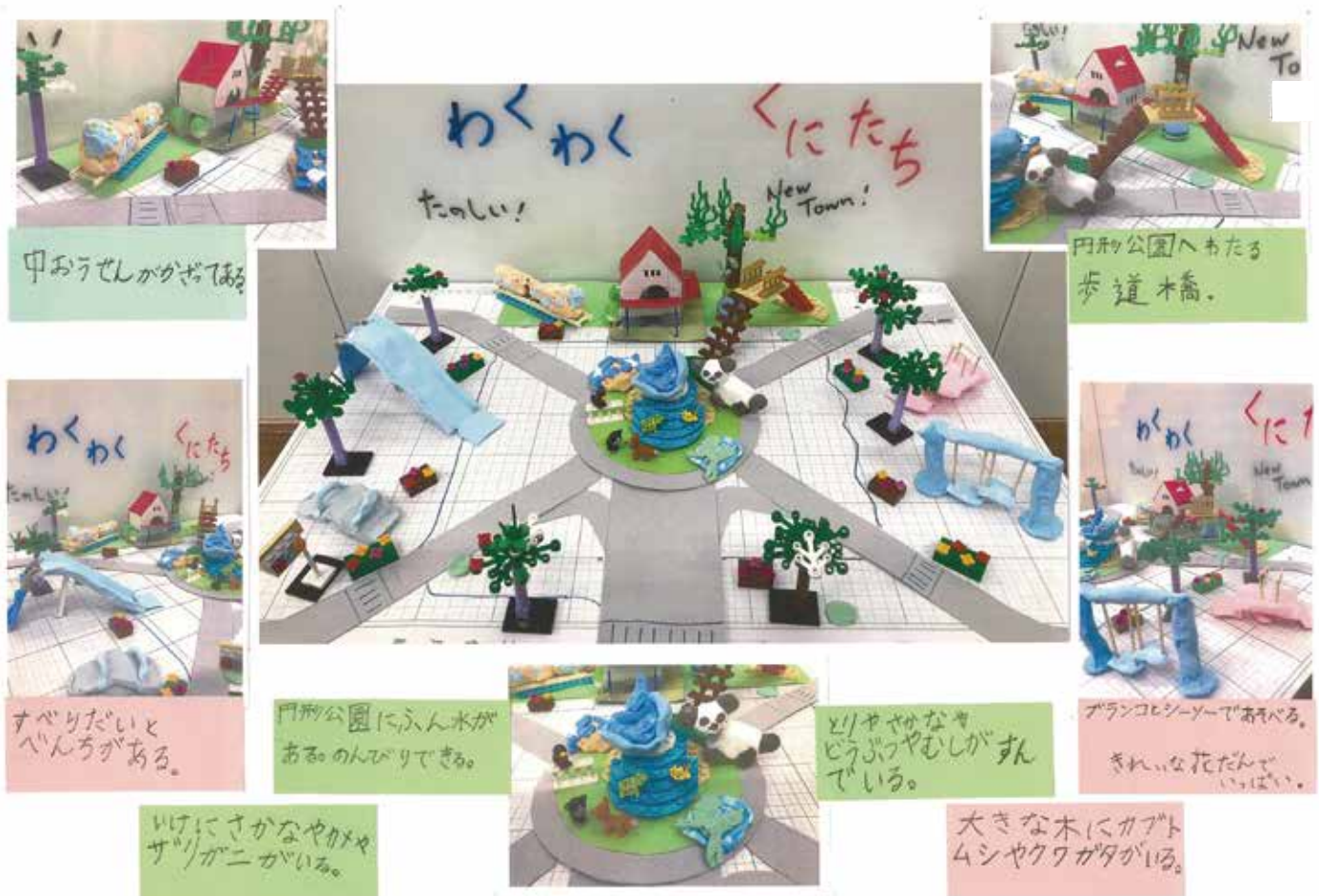
アイデアのコンセプト

国立駅の円形公園は、赤、ピンク、オレンジ、黄色、白のバラで飾り、池の上には橋をかけて自然を感じられるようにしました。赤色のバラは「愛情、美、情熱」、ピンク色のバラは「しとやか、上品、可愛い人」、オレンジ色のバラは「絆、信頼、無邪気」、黄色のバラは「友情、平和、愛の告白」、白色のバラは「純潔、深い尊敬、清純」の意味を持っています。障がいがある人でも花の香りや色、自然に親しむことができるようにしました。

総評

円形公園の斬新な花の配置や誰もが花を楽しめるアイデアが提案されている

円形公園の花や橋に自然を感じさせる斬新なアイデアや、ソーシャルインクルージョンの視点に立った誰もが楽しめる提案となっていることを評価します。



わくわくくにたち

お名前 放課後活動 あおぞらのみんな

アイデアのコンセプト

国立駅前にどんなものがあったら楽しいだろう？子どもたちがアイデアを出し、みんなで工作用紙や紙粘土、レゴブロックを使って実際に作り上げました

総評

見ているだけで制作のプロセスの楽しさが伝わる
見ているだけ楽しくなる作品です。紙や粘土などの様々な素材や多様な人のアイデアが制作の過程で入っていることが伝わり、多様性を認め合うインクルージョンのまち、国立を象徴していることを感じさせます。



- ①広場には富士山を一望できる大きなブランコがあります
- ②国立温泉から運んできた湯を使った足湯があります
- ③夏には水遊びができる噴水があります
- ④広場は小さい子供も安心して遊べる芝生です
- ⑤遊んでいる子供をよりくりにれるベンチがたくさんあります
- ⑥2階からのすべり台の降り口があります



駅から円形公園まで横断歩道が

2階に新設された木製エレベーターから2階の広場に降りれます。併設もあります。何回も階段を登り下ることが



←円形公園にはシンカーが何台も入れます。ベンチがたくさんあり食事ができます。真ん中には小さい子供が安心して遊べるスペースがあります。

駅前には移動図書館があります。くつきスペースで絵本にかぼねなから言葉書けます。



みんなの笑顔に会える国立駅

お名前 和田 拓磨

アイデアのコンセプト

緑がたくさん、緑の中で本を読める。子どもからお年寄りまで一緒に過ごせる駅のブランコから富士山が見える

総評

楽しさが伝わりワクワクする空間を想像できる
ゲームを使って一生懸命に作っていて、くつろげる場所や移動図書館などが置かれ、駅前を楽しめる緑豊かな空間にしたいという思いが伝わってきます。

① 学生さんが多いので映える場所や食べ物を SNS でたくさん発信してもらう

- 馬前の閑院や立川国際 普高 国立21の建て替えなどで古い戸建を新しい子育て世代の集まりも多くなりそう。
- 子育てに関心のある親も多いため、思っている以上にふるまひイベントなどで地域との交流も深めるきっかけをつくる。
- 一橋大学のキャンパスの自然
- 東京体育大学、スポーツでの交流
- 普高、深泉の場にもなるし、皆のいやしにも
- スタバ、串刺しを学ぶ など
- 空港でやっているような巨大競馬を宮保沢酒蔵に移植

デザイン

- 木造の旧国立駅舎とのバランス
- 南口の新しい木造商業ビルとの統一感で
- 木造ガラス張りの小さな店舗やイベントスペースなどが並ぶとお客さんも入りやすいのでは。
- 滋賀県のラコリアや隈研吾さんのデザインのような自然と融合したものが国立の皆さんも好むのではと思います。
- 円形公園は噴水だけとか桜1本だけ
- 旧国立駅舎の邪魔にはならず映えるような景色になると良いと思います。

② 東西本場にせきやさんのカフェスタイルのように、国立やさいや国立の雑貨屋さんのおすずの部品の、お菓子屋さんのおすずの商品、パン屋さんのおすずの商品などのセレクトショップをそれぞれ テイクアウトでお店を出す。大学通りにイヌやデカール、画像のある休憩所なども設置して、お花見やお散歩やお買い物をしなせらゆるりくろげるスペースを作る。シェアサイクルやスクーターを設置して、気に入ったお店があれば実店舗へも付きせらくる。さくら通りのアートや桜や俗保へのアクセスも良くする。

- 馬前でライブやイベントに使える、オープンにもできるスペースをイベント生演奏などしてもらう。
- 大学通りに向けて木のアスレチックやボルダリング、健康器具なども所々に設置して、くろげながら歩いても楽しめる場所をつくる。
- アートや自然をデザインできる場所があると良い

④ イベント+ゴミひろいなど。一橋大学の学生さん? などゴミ拾いのボランティアをされている方々ともコラボレーションがボールのようなおすずでゴミのまち、いもきれいにできたら良いと思います。ステイでゴミをすずで広くなるようなゴミ箱もたくさんあると良いと思います。

国立はステイなお店もたくさんあるしステイの風景もあるので、それをドラマのロケ地や、インスタで「うふふ」などたくさん発信したらたくさん国立の良さを知ってもらえると思います。くにニャンもかわいいのでもっと人気になると思います! 少しでもアイデアがお役に立てばうれしいです。喜んでいただきありがとうございます。井上さやか

国立はステイなお店もたくさんあるしステイの風景もあるので、それをドラマのロケ地や、インスタで「うふふ」などたくさん発信したらたくさん国立の良さを知ってもらえると思います。くにニャンもかわいいのでもっと人気になると思います! 少しでもアイデアがお役に立てばうれしいです。喜んでいただきありがとうございます。井上さやか

国立馬前南口のリニューアル楽しみにしてるニヤーン!

みんながのんびりお散歩したくなるまち

お名前 井上 さやか

アイデアのコンセプト

国立の良さがたくさんちりばめられたまちづくり

総評

ボランティアなど維持管理の提案がなされている
 デザインの提案はありませんでしたが、学生や市民のボランティアの関わり方など、まちの維持管理というソフト面からの提案を評価します。



花と笑顔のあふれる町

お名前 大谷 和彦 渡辺 由紀

アイデアのコンセプト

おかえりなさいツバメさん。春、毎年南の国から海を渡ってくにたち駅に来るツバメを見るとほっと心が和みます。そんな小さな生きものが棲める環境は私たち人間にとっても住みやすい町です。

総評

ツバメに必要な生態系への配慮や、賑わいを生む空間が提案されている

毎年訪れるツバメに必要な池や緑のある生態系に配慮し、駅前広場の沿道と一体となる賑わいを生む滞留空間が提案されている点を評価します。また、旧国立駅舎の雰囲気とあった絵のタッチも素敵です。



国立ストーリー 第1章 「ヤマの校門」

記憶 × 意向 = 駅広の役割をみんなで考える 学生たちが風景をつくりだす、「ヤマの校門」の始まり

かつての記憶や利用者の意向を受け、国立駅前広場としての役割を再定義します。

●コンセプト
かつてのまちの記憶である生活風景を継承し、まちに「自然の大公園」としての姿を取り戻すために、国立駅前広場に「ヤマの校門」として役割を再定義し、周辺を繋ぎ直しながら学生のいきいきとした生活風景を広げていきます。

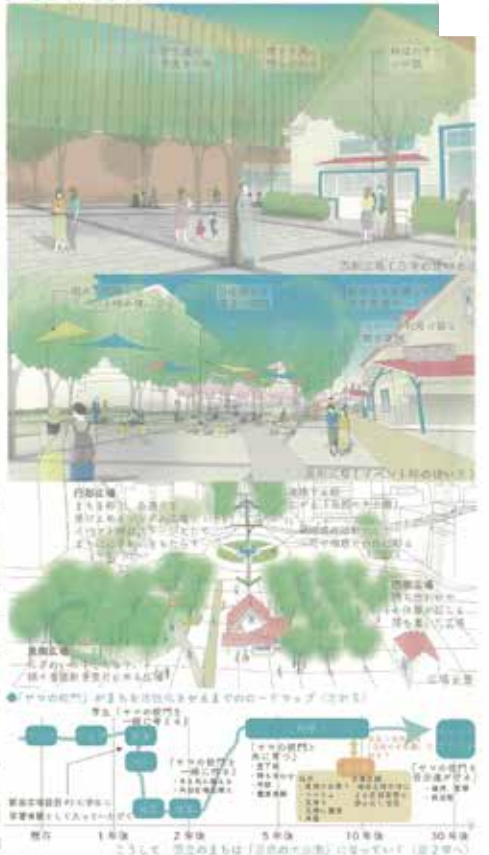
●「ヤマの校門」とは？
かつて駅前空間に存在し、住民に親しまれた「ヤマ」の風景と、まち全体を年状のような利用を自覚した時に、駅前広場には学校の校門としての役割があるのではないかと考え、周辺を繋ぎ直すことで「ヤマの校門」をデザインコンセプトとしました。

国立駅前 OQ へ質問調査インタビュー！！
Q1：国立駅といえど、一歩間をまち。まちを歩くとあふれ、ゾーンの学生が多い。また、ワザムが、よく使われている。
Q2：国立駅といえど、一歩間をまち。まちを歩くとあふれ、ゾーンの学生が多い。また、ワザムが、よく使われている。
Q3：駅前広場はどんな空間が欲しい？
一歩間を歩くとあふれ、ゾーンの学生が多い。また、ワザムが、よく使われている。



「ヤマの校門」から「自然の大公園」へ派生させ、国立を賑わす

学生による「ヤマの校門」の使いこなしは、往時と結ぶ空間として、さらに開かれ広がります。駅前出入口から生まれ出される活動は、「自然の大公園」へと広がり、まちを盛り立てています。



国立ストーリー 第一章 「ヤマの校門」

お名前 笠本 蒼太 鶴蘭 敦也 田口 凌介

アイデアのコンセプト

かつてのまちの記憶である生活風景を継承し、まちを「自然の大公園」としての姿を取り戻すために、国立駅前広場に「ヤマの校門」として役割を与え直し、周辺を繋ぎ直しながら学生のいきいきとした生活風景を広げる

総評

時間をかけて森を育てるプロセスや空間のあり方が提案されている

学生とともに時間をかけて駅前に森を育てるプロセスや、大学通りとの関係性に配慮した配置、広場を動と静に分け、左右の空間が繋がっている点を評価します



国立駅南口駅前広場 ゆたろ

お名前 小山 浩太郎 清水 太幹

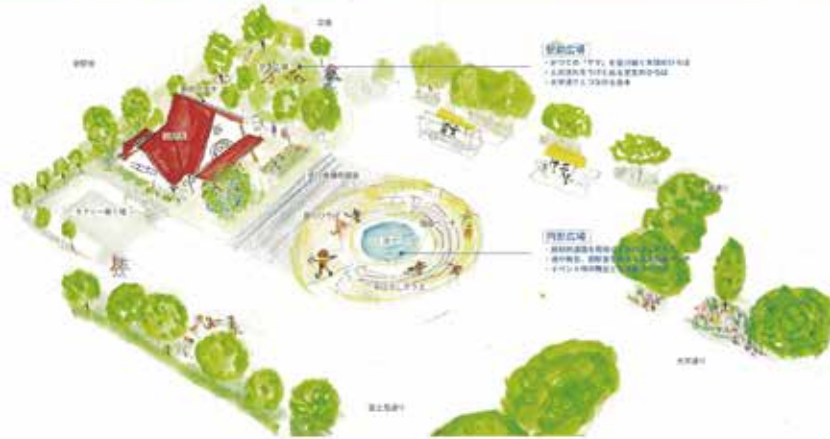
アイデアのコンセプト

アイデアもコンセプトである、『ゆたろ』は、『ゆったり』と『路(ろ)』を合わせた造語で、ゆったりと誰もがくつろぐことができる路と広場の駅前空間の計画を表現しています。計画概要としては、国立駅前の狭小空間の中で、路の空間を休憩スペースとして最大限に活用し、路の動線を守る形で賑わいのための広場空間を確保できるように配慮しています。現況調査をしたときに、国立駅前は着座空間が少なく、旧駅舎以外では落ち着いてくつろぐことができないため、通り過ぎるための空間になっているため、これを変えて誰もが過ごしやすいくつろぐことができる空間を計画したいと思いました。しかし、国立駅前は、周辺の敷地に囲まれた狭小空間という環境から大幅な空間構成の変更は難しいと思った為、既存の路(みち)の空間を最大限に生かし、必要な導線を守る形で最大限で多機能な広場の展開ができるように計画を立てることとしました。その思考を十分に反映した計画であるかと思しますので、ご査収のほど、何卒よろしくお願いいたします。

総評

全体的によくまとまっていて、イベント時の使い方も考えられている

広場全体で集いのスペースを設けロータリー機能も含めて考えられており、平時は利用せずともイベント時に何にでも使え、全体的に機能的でよくまとまっている作品となっています。



「あの場所はなに？」
 「円形公園よ。中に池があって、鳥が来るのよ」
 「公園なの？行ってみたい」
 — 寄っていきこうか。
 今日はどんな景色に会えるかな。

「円形公園」はこれまで外から眺めるだけの場所でした。中に池のあるとき、今では知らない人も多いです。
 くにたちの顔となる広場のリニューアルにあたり、公園内部を利用できるようにするだけでなく、この立地の価値を活かしたいと考えました。それは、大学通りをはじめ三つの通りと、駅舎を見渡すことが出来るということです。
 公園から外へ視線を拓けることで、見えてくること、気づくことが増えるような気がします。正倉から眺む旧駅舎の姿に、過ぎし日を感じる人もいらっしゃいよう。
 円形公園までの安全なアクセスと、公園内部を楽しむ装置、公園からの眺望を楽しむ装置を考えました。

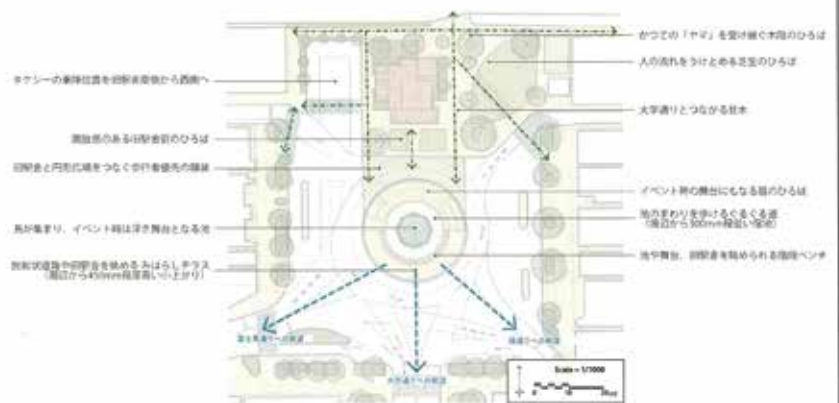
これまでの国立駅前広場

- ・国立駅・現在の駅前広場は、一様大学の緑化にともない開発したもの
- ・かつての駅前広場は「ヤマ」と呼ばれた広大な雑木林だった
- ・円形広場は当初展望台が計画されていた
- ・円形広場には水噴き台が設けられ、人気を博していた
- ・放射状道路は円形広場で終点をとっている（＝円形広場からは3本の通り全てが見える）
- ・ロータリーの整備にともない、円形広場は人が立ち入れない場所となり、現在は放射状道路を見渡せる場所が失われている

→ 緑の中の旧駅舎と3本の通りを見渡す広場をつくる

駅前広場のアイデア

- ・タクシー・コミュニティバスの乗降スペースを旧駅舎前側に移動し、旧駅舎前のスペースを広げることで、旧駅舎から円形広場へつながる心地よい広場をつくり出す。
- ・駅前広場には大きな樹木・柱木をつくり、「本々の串にある旧駅舎」のある風景をつくり出す（さらに旧駅舎の存在感をやわらげつつ、持ち合わせなどに使える木陰をつくり出す）。
- ・円形広場には池を中心としたみはらしテラス・緑地ベンチをつくり、放射状道路や旧駅舎を正面から眺められ、イベントなどにも使える場所とします。
- ・池は湧水時、鳥などが訪れる際の場所となります。
- ・池のまわりは音楽演奏、演劇・ショー等に活用し、必要に応じて浮き舞台などを設けることで様々な使い方が可能です。



くにたちテラス 駅舎と通りを見渡す広場

お名前 白木 愛子 谷水 まき子 谷水 錬

アイデアのコンセプト

円形広場は外から眺めるだけの場所でした。中に池のあることを今まで知らない人も多いです。国立の顔となる広場のリニューアルにあたり、公園内部を利用できるだけでなく、この立地の価値を活かしたらと考えました。それは、大学通りをはじめ三つの通りと駅舎を見渡すことができるということです。公園から外への視線を広げること、見えてくること、気づくことが増えてくると思います。公園までの安全なアクセスと公園内部を楽しむ装置、そして少し高くからの眺望を楽しむよう考えてみました。

総評

三世代が考えた都市を眺める場所として円形公園が提案されている
 円形広場から街を眺めることができる発想が素晴らしく、三世代で考えた作品として国立への愛着を感じさせます。

国立駅南口駅前デザインアイデア

国立市の歴史



国立という名は、大正時代の末期、鉄道土地株式会社によって谷保村の一部の地が買収された際、まもりの地蔵を基にまじり込まれた。当時の中央線は国分寺の交差点で、ちょうどその真中に当たる場所に駅をつくることになっていたので、両方の漢字を取って「国立」にしようという声が上がりました。この案は「この地から新しい国が立つ」という願いとも重なって受け入れられたようです。（国立市HPより）

現状

- ・駅前に来る入りは国立駅利用者/北口への通行のみ
- ・駅前で休める空間が少ない
- ・三内屋敷の両サイドのエリアが活用されていない
- ・駅前の待ち合わせ場所が少ない
- ・天下市やまくらまつりの時のみのイベント時に十分に活用されていない

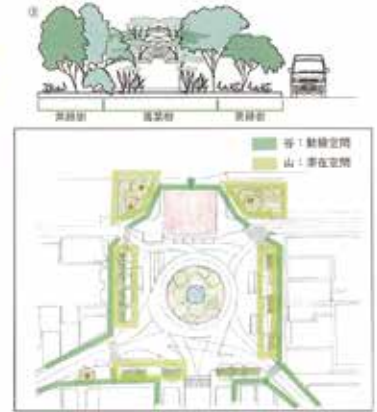


「谷」 変わる国立から、変わらない国立

国立市の前身である谷保の「谷」を表現しました。日々の暮らしの中で変わっていくものと、歴史ある国立で変わらないものをロータリーの空間で表現しました。



西側公園は中心部分に高層部、南側に高層部を配置することでロータリー（東道）への高層部による高層の影響をなくする。また、高層部を中心配置することで駅前の利便性、赤い浮かせタタキも、天下市の際には、赤い浮かせタタキをみることもできる



「谷」 変わる国立から、変わらない国立

お名前 野和田 陽菜

アイデアのコンセプト

国立市の前身である谷保の「谷」を表現しました。日々の暮らしの中で変わっていくものと、歴史ある国立で変わらないものを、ロータリーの空間で表現しました。

総評

維持管理も想定して、枡を使った魅力的な滞在空間を創出している。駅前の歩行者動線を確保したうえで、「枡」を変化させながら高低差のある魅力的な滞在空間を創出し、地元住民の参加による管理も提案している。意欲的な作品となっています。

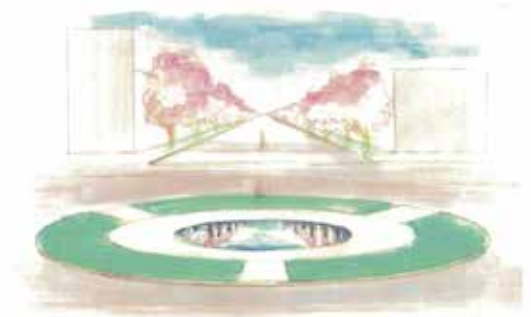
つなぐ



大学通りから円形公園・旧駅舎を望む



東西広場



旧駅舎から円形公園・大学通りを望む。北口から円形公園を望むと、一帯が広く見渡す

<円形公園>

円形公園は、中央付近を歩道帯を一面に敷き詰め、植栽や構造物を極力除く。駅南口を出る視線は円形公園を駆け、一気に島のメインストリートである美しい並木の大通りに向かう。北口は視線を持たせてシンプルに生まれ変わった円形公園は、開放的で気持ちいい。円形公園と大通り、円形公園と旧駅舎が主眼となる。自然と調和した緑の景色の様子をより感じられる。調和とつながりを持たせた視線誘導を意図した。

また、公園中央には歴史を受け継ぐ仕掛けを施す。

タイムを巻き止めた中央には僅かなほらみをつくり、雨水がすかすかに溜まる。雨上がりにだけ一時的に出現する。昔は見えなかったのは、空や海の色を映し、輝く。地下化により存在しなくなる現在の他、その跡が残ったかのような感覚に、人は記憶をつなぐ。

<東西広場>

旧駅舎東側の広場には目を惹く市章の市章を大きく大胆に描く。駅ホームから見下ろすと市章の影がやわらかく浮かび、孤立した側面は対して出現する。目地には昔懐かしい、可愛らしいクローバーが咲く。誰でも一度は探したことがある幸せの象徴四葉のクローバー。ふと足元を探してみたくなるような心地よく時を過ごせる仕掛けである。西側には、シンボルツリーと木を取り囲むベンチ。大通りとのつながり、北口との共通性を持たせる。

西側には、シンボルツリーと木を取り囲むベンチ。大通りとのつながり、北口との共通性を持たせる。

つなぐ

お名前 藤原 隆洋

アイデアのコンセプト

<中央公園> 駅からは大学通りが、大学通りからは旧国立駅舎が、視界を遮らずに見られるように。シンプルで美しい存在、かつ、現在の池の姿を想起させる瞬間をもたらす仕掛けを施す。祝録や記憶をつなぐ場所とした。
<東西広場> 東の広場は、クローバーで国立の市章を描く。誰でも一度は探したことがある幸せの象徴四葉のクローバー。ふと足元を探してみたくなるような心地よく時を過ごせる仕掛けである。西側には、シンボルツリーと木を取り囲むベンチ。大通りとのつながり、北口との共通性を持たせる。

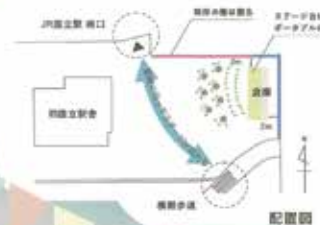
総評

イメージを継承し、駅前全体が調和したシンプルなデザインである

三方向に伸びる通りとの関係を意識しながらも、これまでのイメージを継承したシンプルなデザインで、旧国立駅舎と広場・円形公園と調和の取れた時間によって使い方の変えられる空間となっています。

ステージやスクリーンにもなる貸出備品倉庫

～「備品調達・運搬の問題」を解決し、広場活用の市民参画を促す～



概要
旧国立駅舎広場の北東端に貸出備品倉庫を設置する。倉庫には、広場や旧国立駅舎内で催されるイベントや展示に必要な備品（什器・機材）を保管し、市民や団体が無償または廉価で借りられ、無償または廉価で借りられるようにする。これにより、誰もが備品の自前調達や運び込みの苦勞・コストに困ることがなくなり、広場や旧国立駅舎でイベントや展示を催しやすくなる。また、倉庫の西側外壁をステージ背景やスクリーンとして活用できるよう平滑かつ白色に塗装し、野外ステージや上映会を簡便に催すことができるようにする。これにより、これまでの広場活用では見られなかった文化・芸術を楽しむ人々の姿・風景が新たに生まれる。

ステージに変身する倉庫
広場に倉庫増築のみの建物を行うことは工夫がない。そこで、倉庫の外壁を活用し、さらに倉庫内の備品を組み合わせることで、即座で小劇場やミニシアターを立ち上げられるようにする。市民にとって建物が倉庫ではなく「ステージ」として認識されることをめざす。

旧と換地する以前の国立駅舎口総合公共施設設計図では施設2階に「多目的ホール」の設置が予定されていた。しかし換地後の計画では、当該ホールの設置が自任に戻ってしまった。本アイデアは、立ち上げた「多目的ホール」の機能を回復する目的も込められている。

ステージ使用例
演奏・合唱 くにたち芸術交響コンクール特別公演
演劇・舞台 国高祭のクラス演劇をライブ/バルコニー上演
告知・啓発 北秋田市やルッカ市との友好交流式典
野外上映会 CINEVOX（公民館協賛会）の開催上映
トークショー 観光大使・三浦由美子さんと専務対談
イベント連携 秋の市長まつりのサテライトステージ

問題 現状、広場をイベントで活用する場合、主催者が自前で備品（什器・機材）を調達せねばならず、加えて、車や人手を費やして他所から運び込む必要がある。その調達・運搬コストを負担できない市民や小規模の団体にはハードルが高い。

解決 広場に倉庫を設けて備品を保管し、市民や団体が無料または廉価で借りられ、労せず運べるようにする。また、倉庫の外壁をステージ背景やスクリーンとして活用できるよう整え、備品と組み合わせて簡便にイベントを催せるようにする。

成果 備品やステージの提供により広場活用が促され、結果、催されたイベントに市民や来街者が集い楽しむ風景が生まれる。

貸出備品	貸出窓口	補足事項
イベント備品 出店用テント、長机、折り紙みす、A型看板、フラッグポール、三角コーン、黒石 ステージ備品 ポータブルステージ、演台、マイク、マイクスタンド、アンプ、スピーカー、映写機 展示備品 パネルスタンド、ポルスタンド、イーゼル	旧国立駅舎 まち案内所 従来の旧国立駅舎のスペース（ホール、展示室、外観部）の貸出業務に加えて、本アイデアにおける備品の貸出や広場・ステージの利用申込を受け付ける。 別室として「国立駅舎くにたち・こくふじ市民プラザ」を貸出窓口にする事も考えられるが、利便性を重視すると「旧国立駅舎 まち案内所」が最適である。	広場の用途制限によっては、倉庫を土地に立寄させず可搬式としたり、設置が予定されている公衆トイレと一体化させることで、イベント時はもちろん災害時にも必要な電源・水道・顕著を運用する工夫も考えられる。 倉庫のデザインは国立駅舎口の景観と調和し、品位を損なわない水準が求められる。これは備品（主に出店用テントや長机）のデザインについても同様である。



ステージやスクリーンにもなる貸出備品倉庫

「備品調達・運搬の問題」を解決し、広場活用の市民参画を促す

お名前 間瀬 英一郎 水木 花

アイデアのコンセプト

広場の東端に貸出備品倉庫を設置する。倉庫には、広場や旧国立駅舎で催されるイベントや展示に必要な備品（什器・器材）を保管し、市民や団体が無償または廉価で借りられるようにする。これにより、誰もが備品の自前調達や運び込みの苦勞・コストに困ることがなくなり、広場や旧駅舎でイベントや展示を催しやすくなる。また、倉庫の西側外壁をステージ背景やスクリーンとして活用できるように平滑かつ白色に塗装し、野外ステージや上映会を簡便に催すことができるようにする。これにより、これまでの広場活用では見られなかった文化・芸術を楽しむ人々の姿・風景が新たに生まれる。

総評

倉庫も備えた多様な人が集まるステージが提案されている
ステージだけでなくスクリーンなどの備品や機材を収納できる倉庫が近くにあり、車椅子でも移動しやすい多様な人が交流できる場となっているところが素晴らしいです。

みんなで育てよう、駅からはじまる杜づくり

大きな木陰と木漏れ日の下で、子どもも大人も生き生きしている。なみき、もぐら、ことりたち、身近な生き物も杜づくりの大事な一員。種を選び、穴を開けて、木々の根の呼吸を助けている。私たち、人も杜づくりに参加して、みんなで深呼吸できる国立の駅前広場をつくろう。

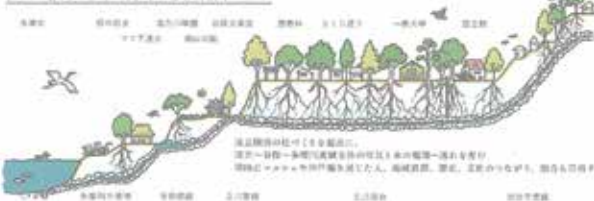
国立駅前の日常風景



多様な生き物生態系が育つ広場と緑地帯の断面イメージ



国立～吾妻～茶臼山地域の地形断面イメージ



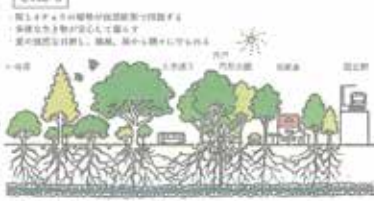
国立駅前環境



緑地



これから



みんなで育てよう、駅からはじまる杜づくり

お名前 WAKUWORKS 株式会社

アイデアのコンセプト

みんなで育てよう。えきからはじまる杜づくり。

・目指す空間づくり

現在の暮らしや景観に合わせながら、100年前にこの地にあった武蔵野の森のように優しい緑でまちが守られ、老若男女、生き物、緑が共生し、各々が深呼吸できる空間を作る。

・実現方法

地中に水と空気を浸透させ、根の呼吸を助ける環境再生の手法を活用し、一般は市民参加で実施する。

・その先に目指していること

国立地域、ひいては武蔵野の自然の再生、地域資源、歴史、文化のつながり、融和を目指す。

総評

自然との共生のコンセプトが明確に提案されている

自然との共生というコンセプトが明確で、周辺の植生の力を引き出し、グリーンインフラとして新しいまちのあり方が国立らしいと感じます。